

競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ

（1）参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様へのご協力をお願い。

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、以下の留意点の遵守にご協力をお願いします。

- ①参加選手の体調の把握をお願いします。少しでも体調の悪い選手は競技会への出場を辞退させてください。【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙1）の作成と確認をしてください。学校受付時に参加者全員分を提出してください。コピーの保管をしておいてください。
体調不良の選手が出た場合は、氏名を主催者にお知らせください。
- ②競技会へ出場する選手のみ参加とします。応援、付き添いのためだけの者は会場に来させないでください。練習会場なども同様とします。ただし、熱中症など防止対策として長距離種目については、指定地点（ゴール地点から前方のシャッターを出て右側）に各校1名の付き添いをつけてください。競技会へ出場せず、補助員で参加する場合は例外とします。ご協力をお願いします。
- ③学校関係者以外では、保護者の方のみ観戦できます。詳しくは、福岡県高体連ホームページに掲載している【観戦希望保護者の方へ】を確認して下さい。
選手の送迎についてはこの限りではありません。
- ④選手控所については、主催者で間隔をあけるため禁止場所を設定しますので（禁止の表示）、それ以外の場所で設置をお願いします。
- ⑤選手控所で休憩する場合は、フィジカルディスタンスを確保するよう指導をお願いします。また、大声で会話等することのないよう指導をお願いします。
- ⑥ごみは各自で、各学校で必ず持ち帰ってください。
- ⑦競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所等に報告し、各学校で把握しておいてください。必要があれば福岡県陸上専門委員長（筑前高校：凌 092-807-0611）に報告してください。その際に【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙2）のコピーを提出してください。個人情報には、細心の注意を払ってください。

（2）参加者が競技を行う際の留意点

1) 基本的注意事項

参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様から競技会の参加者に対し、以下の留意点や遵守すべき内容を周知・徹底を指導してください。

- ①招集所では他の選手とはフィジカルディスタンスを確保し招集を受ける。
- ②唾や痰を吐く行為は行わない。
- ③タオルの共用はしない。タオルは各自で持参する。
- ④控所では、周囲の人とフィジカルディスタンスを確保する。大声で会話をしない。
- ⑤試合中などに選手が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡する。
ただし、緊急を要する場合は、その限りではない。

2) トラック競技

- ①レース中にマスクを着ける必要はないが、招集中・移動中・待機中は着用する。マスク着用による熱中症にも注意をする。
- ②レース終了後、手洗い・洗顔を徹底する。

3) フィールド競技

- ①待機場所における選手同士のフィジカルディスタンスを確保する。競技役員の指示で、通路などの利用を指示する場合もある。
- ②投てき器具については共用となるので、終了後の手洗い・洗顔を行う。また、競技中に不用意に手で顔を触らないよう注意する。
- ③助走練習、投てき練習時に並ぶときは、フィジカルディスタンスを確保する。
- ④選手同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用する。

4) ウォーミングアップ会場の配慮事項

- ①フィジカルディスタンス確保の工夫を行う。
- ②競技者自身のみでウォーミングアップを行う。(付き添いは付かない)
- ③ウォーミングアップ会場での観戦を禁止する。
- ④雨天練習場の利用は禁止する。

(3) その他留意事項

1) 体調の確認

学校(チーム)で参加する場合は、選手の体調管理のため、顧問(監督)の方が以下の書面を作成し持参する。学校受付時に提出する。コピーの保管をしておいてください。

・【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(別紙1)

- ①氏名、年齢、住所、連絡先、所属名、保護者氏名
- ②イベント1週間前から当日の体温
- ③競技会前1週間前から当日の以下の事項の有無
 - ア のどの痛みがある
 - イ 咳(せき)が出る
 - ウ 痰(たん)がでたり、からんだりする
 - エ 鼻水(はなみず)、鼻づまりがある ※アレルギーを除く
 - オ 頭が痛い
 - カ 体のだるさなどがある
 - キ 発熱の症状がある
 - ク 息苦しさがある
 - ケ 味覚異常(味がしない)
 - コ 嗅覚異常(匂いがしない)
 - サ 平熱を超える発熱
 - シ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触(※別紙1に記載なし)
 - ス 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる(※別紙1に記載なし)
 - セ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある(※別紙1に記載なし)

2) マスク等の準備

学校(チーム)の競技会参加者がマスクを準備しているか確認する。参加者が、運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときには、マスクの着用を指示する。

3) 競技会の参加前後の留意点

競技会に参加する学校(チーム)は、競技会前後のミーティングなどで3つの密を避ける。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮する。

4) 手洗いの実施

競技会の中に手洗いをこまめに行うよう指導してください。

①手洗いは、30秒以上行う。石鹸は競技場にも準備するが、できるだけ各自で持参する。

②手洗い後、手をふくために各自でタオル等を準備する。タオル等を共用しない。

③手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。競技場にも準備するが、できるだけ各自で持参する。

④フィールド競技に出場する競技者は、競技終了後手洗い、洗顔を実施させる。

5) 更衣室、休憩、待機スペースでの行動について

更衣室は100mゴール地点側のみ利用できる。ただし、シャワーの使用は禁止する。

休憩、待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導してください。

①広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。

②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度にスペースに入らないよう指示する。

③室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。

6) 洗面所

洗面所（トイレ）も感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導してください。

①トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。

②トイレの便器の蓋を閉めて汚物を流すよう指示する。

③手洗いは、30秒以上行うよう指示をする。

④手洗い後、手をふくために個人でタオル等を準備するよう指示をする。

7) 観客の管理

①各学校（チーム）の顧問（監督）の方から、保護者以外の友人などの応援者は、会場（競技場スタンド・選手控所）への入場を自粛してもらうよう伝達していただく。今回の競技会については、学校関係者以外では、保護者の方のみ観戦できます。詳しくは、福岡県高体連ホームページに掲載している【観戦希望保護者の方へ】を確認して下さい。

②集団での応援は禁止、また応援者同士の距離を2mほど開ける。大声をだして応援しない。また、タイム読みも禁止する。手拍子での応援は可。

8) ごみの廃棄

各チームが出したごみは持ち帰る。また、以下に配慮して回収を行う。

①鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れ密閉する。

②ごみを回収する人は、手袋やマスクを着用する。回収が終わったら必ず石鹸と流水で手を洗う。

【参考】

○各校顧問の動き

①競技会前

- ・【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙1）の作成と確認。コピーの保管をしておいてください。

②競技会当日

- ・正面玄関前で、学校受付と審判受付を行う。
【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙1）を提出し、体調不良者がいないことを報告する。
審判業務につく方で、審判員胸章を忘れた（持っていない）方は代わりに証明書を受け取る。競技会終了時には返却する。審判員胸章か代わりに証明書を持っている方は、競技場1階室内など立ち入り禁止区域に入ることができる。
- ・各種提出物（お金含む）や選手変更手続きも正面玄関前で行う。
- ・「競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ」が守られているか、確認を行い生徒などに適切な指示を出す。
- ・体調不良の選手が出た場合は、氏名を大会本部へ報告する。

③競技会後

- ・【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙2）の作成
- ・競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所等に報告し、各学校で把握しておいてください。必要があれば福岡県陸上専門委員長（筑前高校：凌 092-807-0611）に報告する。その際に【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙2）のコピーを提出する。個人情報には、細心の注意を図る。

○選手などの動き

①競技会前

- ・【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙1）の作成
コピーの保管をしておいてください。

②競技会当日

- ・競技場1階室内など立ち入り禁止区域に入ることができない。更衣室は100mゴール地点側のみ利用できる。ただし、シャワーの使用は禁止する。
- ・競技場1階への出入りは、100mスタート地点後方出入口と100mゴール地点前方出入口から行う。
- ・第1コーナーからスタートする選手は、招集終了後、100mゴール地点から前方出入口を出て右側の待機場所へ行き、指示を受ける。第1コーナー付近の倉庫内は立ち入り禁止。
- ・第3コーナーからスタートする選手は、招集終了後、第3コーナー出入口付近（審判で指示）へ行き、指示を受ける。
- ・第4コーナーからスタートする選手は、招集終了後、招集所横へ行き、指示を受ける。
- ・選手変更手続きは正面玄関前で行う。
- ・「競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ」が守られているか、確認を行いながら競技会に参加する。

③競技会後

- ・【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（別紙2）の作成
- ・競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所等に相談し、各学校顧問へ報告する。

○待機場所など

- ・競技場1階外側メインスタンド裏

待機ができる場所とできない場所を区分けしている。今まで利用できていた100mゴール地点から前方出入口を出て右側の待機場所の一部と招集所横は利用できない。

- ・競技場1階外側バックスタンド裏

待機ができる場所とできない場所を区分けしている。

- ・競技場3階メインスタンド裏

待機ができる場所とできない場所を区分けしている。

- ・メインスタンド

中央通路より上を待機場所とする。ターフなどを使ってよい。ただし、他校との間を2m以上取り、風などで飛ばないようにする。また、写真判定に支障が出るため、ゴール地点と写真判定室を結ぶライン上は場所取りを禁止する。

中央通路より下を観戦場所とする。フィジカルディスタンスを確保する。

※サイドスタンド、バックスタンド

観戦する保護者（サイドスタンドとバックスタンドのみ認める）の方と極力接触しないようにするため、待機場所としての利用は禁止する。

※雨天練習場は利用禁止。

[施設における配慮事項]

(1) 施設入場時の配慮事項

- ①手指消毒剤の準備。(競技場管理者及び競技会主催者)
- ②フィジカルディスタンス確保の呼びかけ。

(2) 施設利用上の配慮事項

- ①常時換気の実施(窓開け・戸開けの実施)
- ②諸室・招集所などの座席配置の工夫。(フィジカルディスタンスを確保)
- ③直接の接触回避の工夫。
- ④多くの者が接触する可能性がある個所の清掃・消毒を通常よりも多く行う。
(施設管理者の方への協力依頼)
- ⑤トイレの清潔化の徹底。(便座の蓋をしてから流す)
- ⑥ゴミ箱を撤去し、ゴミは各自持ち帰るように事前に周知する。また、アナウンスも行う。
- ⑦発熱者が出た場合の隔離用の部屋を確保する。

[報道取材者への協力事項]

- ①競技に関する取材のみ認める。
- ②福岡県高体連と福岡県高体連陸上専門委員長(筑前高校: 凌092-807-0611)に取材の申請を必ず行う。その際、【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(別紙1)を作成し提出すること。
- ③取材人数は、1社1名を基本とする。
- ④取材エリアについては、競技・審判に支障がなく安全なエリアで行う。審判の指示に必ず従う。
- ⑤会場内では、フィジカルディスタンスを確保し、3密を防ぐ。
- ⑥取材中は、必ずマスクを着用する。また、ビブスを必ず着用する。
- ⑦選手・監督への取材は行わない。
- ⑧会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がける。